

環境あきた 県民フォーラム通信

—ACCCA NEWSLETTER—

令和7年
1月

フォーラムの活動や環境に関する情報などをお伝えします！

法人設立20周年を迎えて

理事長 佐藤 充



新しい年を迎え、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素、当法人の運営に当たりましては会員の皆様から多大のご支援を賜りますとともに、活動に際しては多くの方々からご理解とご協力をいただいております。ここに深く感謝申し上げます。

さて、私どもの団体は様々な環境の課題、具体的には地球温暖化対策をはじめ水環境の保全や自然環境の保全、さらには地域環境の保全など幅広い環境分野の活動に取り組んでおられる方々と連携・交流することにより県内の環境活動を盛り上げていくことを目的に2004年7月にNPO法人として新たなスタートを切りました。

振り返ってみれば、当時は3Rによる循環型社会の構築に向けた取組みが進められ、また併せて地球温暖化対策についても国際的な枠組みが整備されつつあった時期であったと思います。

そして、当法人は同年8月に秋田県地球温暖化防止活動推進センターの指定を受け、以来、更新を重ねながら今日に至るまで、その役割を果たすべく地球温暖化対策を中心に活動してまいりました。

この間、組織の運営に苦勞した時期があったものの、何とかそれを乗り越え、2019年11月には県から、NPO法人として広く市民からの支援を受けていること、運営組織や経理が適切であること等の基準に合致していることを踏まえ、認定NPO法人の認定を受けるなどの経緯を経て、20周年を迎えることができました。

これも偏に歴代の役員の方々のご尽力と会員をはじめ多くの皆様の温かい支えがあつてのことと、とても有難く感謝の気持ちで一杯です。

一方、当法人が活動の柱にしている地球温暖化の問題については、このところ世界各地で気候変動の影響が著しく、集中豪雨や干ばつ、森林火災などの災害が多発し、また私どもの足元でも2年続けて豪雨による大規模な洪水被害が発生するなど、本当に差し迫った最重要の課題となっており、一層の取組みの強化と深化が求められています。

こうした中で、昨年9月には認定NPO法人として更新認定を受け、また県センターの指定期限が本年3月末となっていたことから、昨年末に指定団体の選定が行われ、その結果、引き続き当法人がその役割を担うことになり、役職員一同改めて気を引き締めているところです。

20周年という大きな節目を迎えた今、県センターの活動に当たっては、これからも新たな視点を取り入れつつ県と密接に連携して地域に根差した様々な環境活動のさらなる展開を図るとともに、当法人が目指している県内各地で環境をテーマに活動している団体とのネットワークづくりにも力を注いでまいりたいと考えております。

結びになりますが、今後も持続可能性をキーワードにしながら日々の活動に邁進してまいりますので、当法人に対し、皆様のこれまで以上のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶いたします。

認定特定非営利活動法人 環境あきた県民フォーラム

【役員】

理事長：佐藤 充
理事：小笠原 正剛
理事：佐藤 直己
理事：中嶋 清実
理事：泉 公夫

副理事長：原田 美菜子
理事：木口 倫
理事：高橋 行文
理事：西川 裕之
監事：高井 宏司

副理事長：佐々木 弘
理事：草皆 次夫
理事：照井 昌子
理事：畠中 豊章
監事：嵯峨 良章

【事務局】

事務局長：泉 公夫
スタッフ：原田 麻子

スタッフ：石塚 亨
スタッフ：齊藤 妙子

スタッフ：橋本 文

フォーラムのこの一年間の主な動き

総会と理事会の開催状況

令和6年に開催した総会と理事会の開催状況は次の通りです。

月 日	事 項	開 催 場 所	主 な 内 容
3/26 (火)	令和5年度第4回理事会	林泉会館	▷決議事項 ・ 特定資産（環境活動基金）の積立 ▷報告事項 ・ エコマイスター協議会との連携強化 ・ 各種事業の実施状況等
5/24 (金)	令和6年度第1回理事会	//	▷決議事項 ・ 令和6年度総会に付議する事項 ▷報告事項 ・ 令和6年度総会の記念講演
6/3 (土)	// 総 会	遊 学 舎	▷議案の審議 ▷記念講演 「エネルギーシステムの観点に基づく木質バイオマス発電」
6/28 (火)	// 第2回理事会	林泉会館	▷協議事項 ・ 理事の役割分担 ・ 令和6年度事業計画 ▷報告事項 ・ 各種事業の状況
12/17 (火)	// 第3回理事会	//	▷決議事項 ・ 職員への賞与 ▷報告事項 ・ 各種事業の実施状況等

スポットな 取組み

第22回あきたエコフェス～ゼロカーボンと3Rで変わる未来～への参画

第22回を迎えた「あきたエコフェス」は、県民、民間団体、大学及びNPO法人等との連携のもと、秋田の豊かな自然や地球温暖化をはじめとする環境問題、省エネルギー・再生可能エネルギー・3Rなどについて、大人も子どもも一緒に楽しみながら学べるイベントとして、10月12日・13日の両日、秋田駅前のアグラ広場を中心に開催されました。

今回のあきたエコフェスでは、出展企業団体による、ゼロカーボン・再生可能エネルギー・3Rなどの取組み事例紹介に加え、来場者の行動変容とライフスタイルの転換を促すための新たな企画として「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしブース」が設けられ、「デコ活」に関する情報発信が行われました。

また、エコトークショーやエコサイエンスショーなどの様々なステージイベントも開催され、来場者数は2日間で48,000人を数え、多くの方々に環境に対する関心を持っていただきました。

当フォーラムは引き続き、実行委員会の事務局として主体的に関わるとともに、秋田県地球温暖化防止活動推進員の方々のご協力をいただきながら、環境に関する情報発信や活動紹介を行いました。



〈出展ブース……56（令和5年：50）〉

- （内訳）▷ゼロカーボンエリア………17
 ▷環境保全エリア………9
 ▷クリーンアップエリア………3
 ▷再生可能エネルギーエリア………12
 ▷3Rエリア………13
 ▷その他………2



スポットな 取組み

にかほ市地球温暖化対策事業の受託

にかほ市では、住民・事業者・行政が一体となり市を挙げて地球温暖化対策の取組みを進めています。当フォーラムでは、セミナー開催業務を受託し、お手伝いしています。

● R6/2/14 行政向けセミナー「持たざる国の地方自治体における地球温暖化対策」 （令和5年度事業）

地球温暖化に伴う気候変動への対応が喫緊の課題となっていることから、行政関係者（市職員、市議会議員、にかほ市地域脱炭素推進員）を対象に、地球温暖化の差し迫った現状を踏まえ、具体的な取組みや行動を促すための情報を提供することを目的にセミナーを開催しました。

青森大学社会学部教授の藤 公晴（とう きみはる）氏を講師に迎え、地球温暖化対策やSDGsの国際的な潮流を踏まえながら、脱炭素時代の地域社会に求められる取組みについてご講演いただきました。



通年の事業

湯沢市脱炭素セミナー事業の受託

湯沢市では、令和4年6月に市、議会、湯沢商工会議所、ゆざわ小町商工会の4者で「湯沢市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、これを受けて同年から地球温暖化対策に精力的に取り組んでいます。

当フォーラムでは昨年度の市職員向けセミナーと行政向けセミナー、ピッチイベントの開催業務に引き続き、今年度も脱炭素セミナーの開催業務を受託し、お手伝いをしています。

令和6年に行った内容は以下の通りです。

● R6/1/23 行政向けセミナー（令和5年度事業）

市議会議員と市職員を対象に、「ゼロカーボンを通じて、まちも人も自然も元気に！」と題し、東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科 教授 三浦秀一氏を講師に迎え開催されました。

同氏からはゼロエネルギー住宅として、同氏の自宅の紹介、脱炭素とまちづくりの関係（再エネ・省エネと地域経済活性化）、湯沢市への提言（湯沢市が力を入れるべき重要課題）についてご講演いただきました。



● R6/11/26 「Yuzawa Zero Carbon Pitch」 （令和6年度事業）

事業者や金融機関等を対象にした「Yuzawa Zero Carbon Pitch」は、湯沢市を会場に開催され、91名の参加がありました。ゲスト講師に公益財団法人 地球環境戦略研究機関の上席研究員 藤野純一氏を迎え、市内の企業である(有)本家仕上屋、(有)鮎乃家、中野挽物製作所の3社に加え、湯沢市にゆかりのある気仙沼市の緋紅梅の計4社が環境に配慮した取組みについて事例発表を行い、さらに湯沢翔北高校の生徒たちから湯沢西小学校とのコラボレーション企画で行われた環境学習会等について紹介がありました。

また、藤野氏をはじめ、地元の関係者など5名によるパネルディスカッションが行われ、経営活動とエコを両立するための苦労や工夫について、活発な意見交換が行われました。



● R7/1/20（予定）行政向けセミナー（令和6年度事業）

行政向けのセミナーについては、講師：東北大学 大学院工学研究科技術社会システム専攻ソーシャルシステムデザイン講座（エネルギーサステナビリティ分野）の中田俊彦教授を講師にお招きしてお話いただくことにしています。

内容は、環境・経済・社会の相互の関わりを踏まえ、環境問題への理解を深めるとともに、地域課題の解決に資する「脱炭素型まちづくり」を進めるために有益な情報を提供するものとなります。

通年の事業

秋田県認定リサイクル製品展示・PR事業（県委託事業）

県内の廃棄物を資源とし、再び製品化され「秋田県認定リサイクル製品」として認定された各種リサイクル製品の展示会を行いました。来場者からは、製品の原材料や使用される場所、価格などについての質問があり、関心の高さが伺えました。

当フォーラムは、今後も廃棄物の減量化、リサイクル関連産業の活性化を、PR事業をととして支援していきます。

- R6/1/15～1/24 にぎわい交流館AU
- R6/1/25～2/1 遊学舎
- R6/10/31 農業×脱炭素セミナー
（会場：鹿角市交流センター）
- R6/11/16 科学フェスティバル
（会場：由利本荘市総合体育館）
- R6/12/4～12/6 エコプロ2024
- R6/12/25 断熱リフォームセミナー
（会場：遊学舎）
- R7/1/9～1/14 にぎわい交流館AU
- R7/1/15～1/26 遊学舎（予定）



環境あきたエコ活動支援助成金事業の実施

県では環境保全の意義や重要性について県民の理解を深め、豊かな水と緑あふれる秋田を将来に継承していくため、民間団体が自主的に行う環境保全活動に助成できる制度を令和元年度より設けており、当フォーラムが事務局となって団体の活動を支援しています。

▷対象団体…公益的、社会的な活動を行うNPO等（NPO法人、社団法人、市民活動団体、地縁団体など）の団体で、県内に主たる拠点を置き、活動の主たる範囲が県内であること。

▷対象事業…①環境保全に関する実践活動 ②環境保全に係る教育啓発活動 ③環境保全に関する身近な調査研究活動

▷助成額…助成対象事業の実施に要する経費の9/10（上限額30万円）

▷対象経費…講師等の謝金・旅費、消耗品費、印刷製本費、使用料・賃借料、通信・運搬費等

R 6/3/9 令和5年度事業報告会

1	秋田県スキューバダイビング連盟（秋田市）	ダイバーによる海洋ゴミの清掃と調査活動
2	三湖伝説連絡協議会（潟上市）	八郎湖集水域の河川に着目した保全活動
3	NPO法人鳥海山麓グリーンネット（由利本荘市）	環境保全を維持する地域循環型農業を学ぶ活動
4	アースディ男鹿実行委員会（男鹿市）	「アースディ男鹿2023」と講演会の開催
5	ときめき工房・ねまー（能代市）	「アースディ能代」の取組みと環境フォーラムの開催
6	菜の花いろプロジェクト（羽後町）	菜の花トーク（農法を学ぶ講演会）の開催

令和6年度の事業実施団体（6団体）

1	秋田県スキューバダイビング連盟（秋田市）	ダイバーによる海洋ゴミの清掃と調査活動
2	あきた里山ネットワーク（五城目町）	里山の環境保全活動を通じて地域の活性化を図る事業
3	NPO法人鳥海山麓グリーンネット（由利本荘市）	環境保全を維持する地域循環型農業を学ぶ活動
4	アースディ男鹿実行委員会（男鹿市）	「アースディ男鹿2024」と講演会・ワークショップの開催
5	プリティアアップル（増田町）	剪定されたりんごの受粉樹の実を活用したりんご染め
6	NPO法人 大館・小坂鉄道レールバイク（大館市）	長木溪流の自然と歴史の表出事業

R 7/3/8 (予定) 令和6年度事業報告会

令和6年度に事業に取組んだ6団体による事業の報告会を秋田市で開催する予定です。



環境 情報

なかなか

認知度が上がらない!?



デコ活

ディカーボナイズーション
デ・Decarbonization
コ・環境によい「エコ」
活・活動・生活

ディ
…?

※Decarbonization…脱炭素

皆さんはもう「デコ活」という言葉をご存知でしょうか。

フォーラム通信をご覧の皆さまはご存知の方が多いかもしれませんが、残念ながら「デコ活」の認知度はあまり上がっていないのが現状です。今年、秋田県内各地で開催された環境イベントで当フォーラムが行ったアンケートでも、「デコ活を知っている」と答えた人の割合は、約3割にとどまりました。

そこで、個人で取り組みやすい**デコ活アクション（＝脱炭素な暮らしにつながる活動）**をいくつかご紹介します！

食品ロスを減らしてデコ活！

日本では、まだ食べられるのに捨てられる食品（食品ロス）が年間約472万トンあります。この数字は、国連WFPが飢餓に苦しむ人々へ行った食料支援量480万トンとほぼ同じです。（※）

※参照：「農林水産省 令和6年6月21日公表 令和4年度推計値」「国連WFP協会年次報告書2022」

【家庭でのポイント】

- ・買い物に行く前に、冷蔵庫の在庫をチェックする。
- ・まとめ買いをしたら新鮮なうちに冷凍保存する。
- ・賞味期限、消費期限を正しく理解する。…など

【外食時のポイント】

- ・食べきれない量を注文し、残さず食べる。
- ・宴会では、乾杯後30分間とお開き前の10分間は、自分の席で料理を楽しむ3010（さんまるいちまる）運動を取り入れる。…など



エアコンをうまく使ってデコ活！

家庭内における電力消費の割合の約3割を占めるのがエアコンです。そして冷房より暖房の消費電力が大きく、電気代が高くなる傾向にあります。

- 【ポイント】
- ・室温は、夏は28℃、冬は20℃を目安に。
 - ・暖房時の風向きは下向きに、冷房時は水平に。
 - ・風量は自動設定に。
 - ・フィルターを月に1～2回掃除する。…など



フィルターの掃除で電力の消費を抑えよう！

家電の買い替え時にデコ活！

最近の家電製品は10年前の家電製品に比べると省エネ性能が大幅に進化しています。

冷蔵庫で約30%前後、エアコンで約15%前後、温水洗浄便座で約8%前後の省エネです。（※）

※参照：「一般財団法人 家電製品協会 省エネ家電de スマートライフ」



環境省の省エネ製品買替ナビゲーション「しんきゅうさん」では、新旧の家電の年間電気代や年間消費電力量、CO₂排出量などを算出できます。ぜひ使ってみてください！

「秋田県地球温暖化防止活動推進センター」の 指定が決定しました！



当フォーラムが県から指定を受けていた「秋田県地球温暖化防止活動推進センター」の指定期間が令和7年3月
末で終了となっていたことから、このほど「秋田県地球温暖化防止活動推進センター」の公募がありました。

当フォーラムでは、引き続き指定を受けるため申請を行い、昨年末に指定団体選定委員会が開催されました。その結果、県より
指定を受けることが決まり、指定期間は令和7年4月1日から令和10年3月31日までの3年間となっています。

引き続き、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

「認定特定非営利活動法人」の更新が決定しました！

令和元年11月に認定を受けていた「認定特定非営利活動法人（認定NPO法人）」について、5年間の認定
期間の満了が近づいてきたことを受け更新申請を行い、令和6年9月に更新認定されました。（認定期間令和
6年11月～令和11年11月）

今後も、組織運営や事業活動等についての情報公開を進め、透明性の高い組織運営に努めてまいります。



新会員のご紹介

ご加入いただきまして、誠にありがとうございます。

個人	◆正会員（1名）・佐藤 様（秋田市） ◆賛助会員（5名）・熊谷 様（秋田市） ・大門 様（横手市） ・野村 様（秋田市） ・棚橋 様（秋田市） ・山崎 様（大仙市）
企業・団体 （正会員5社）	・（一社）LEI（秋田市/再エネ等コンサルタント） 「秋田を拠点に、地方公共団体の皆様のエネルギーや地球温暖化対策にかかわるお悩みを解決します」 ・大東精機株式会社（由利本荘市/精密部品加工） 「社員の満足度向上を目的とした労働環境を維持し、満たされた心の集団で環境保護に努めます」 ・株式会社秋田マシナリー（にかほ市/精密板金加工） 「株式会社秋田マシナリーは精密板金加工製造の事業を通じ、地域の発展に貢献するとともに事業活動が環境に与える影響を全社員が認識し、省エネルギー、資源の循環活用、環境汚染の予防に取り組んでいきます」 ・株式会社イーシーサービス（にかほ市/産業廃棄物処分量） 「廃棄物から持続可能な社会へ貢献します」 ・丸大機工株式会社（にかほ市/機械装置設計製作） 「地域社会の発展と共存を目指し、環境保護に配慮した生産活動を行います」
企業 （賛助会員11社）	・小坂製錬株式会社（小坂町/非鉄金属製錬） ・株式会社かづのパワー（鹿角市/電力小売） ・秋田朝日放送株式会社（秋田市/放送） ・秋田空港ターミナルビル株式会社（秋田市/運輸サービス） ・秋田製錬株式会社（秋田市/亜鉛精錬） ・株式会社藤和測量設計（にかほ市/測量） ・ローカルでんき株式会社（湯沢市/電力小売・卸売） ・株式会社日水コン（東京都/上下水道等コンサル） ・株式会社日本ピージーエム（小坂町/貴金属回収） ・秋田洋上風力発電株式会社（能代市/風力発電） ・株式会社秋田銀行（秋田市/金融）

ありがとうございました！



※各企業様の業種については、各社のWebサイト等から引用いたしました。

認定NPO法人環境あきた県民フォーラム設立20周年のお知らせ

認定NPO法人環境あきた県民フォーラムは、おかげさまで20周年を迎えることができました。
これも偏に、当フォーラムの活動を支えてくださった皆さまのおかげです。誠にありがとうございます。
今後とも、認定NPO法人環境あきた県民フォーラムを何卒よろしくお願い申し上げます。



おかげさまで20周年を迎えることができました。ありがとうございます！！

フォーラム情報

●会員数

2024年12月末現在の会員数は次の通りです。

区 分	正会員	賛助会員	合 計
個 人	26	79	105
企 業	16	73	89
市民団体	6	4	10
業界団体	1	6	7
行 政	1	—	1
合 計	50	162	212

※振込名義：認定特定非営利活動法人
環境あきた県民フォーラム
理事長 佐藤 充（みつる）

※手数料無料の振込用紙を希望される方は事務局へご連絡ください。
直接事務局にお持ちいただくことも可能です。



●会員募集のお願い

未来の子どもたちのために、秋田の環境をより良くしようという活動の応援団として、当法人の活動に賛同し入会してくれる方を募集しております。

年会費

	正会員	賛助会員
企業・企業関連団体	¥10,000-	¥10,000-
個人・市民団体	¥ 3,000-	¥ 1,000-

※金額は1口から何口でも可能です。

納入先

	支店名	口座番号
秋田銀行	県庁支店	普通 560425
北都銀行	山王支店	普通 6099633

こちらから入会申込みできます！
（フォーラム Web サイトへ）



●財務状況

フォーラムの令和5年度決算と令和6年度予算は次の通りです。

○令和5年度決算

	科 目	金 額 (円)
収 益	会費・正会員	211,000
	・賛助会員（寄付金扱い）	941,000
	寄付金	234,994
	補助金	7,583,346
	委託金	16,859,948
	その他収益	59
	小 計	25,830,347
費 用	補助事業	7,691,739
	委託事業	16,869,762
	自主事業	521,811
	管理費	515,275
	小 計	25,598,587
	増 減 額	231,760
	正 味 財 産	5,810,023

○令和6年度予算

	科 目	金 額 (円)
収 益	会費・正会員	220,000
	・賛助会員（寄付金扱い）	1,000,000
	寄付金	150,000
	補助金	6,500,000
	委託金	16,562,110
	その他収益	40
	小 計	24,432,150
費 用	補助事業	6,500,000
	委託事業	16,562,110
	自主事業	769,890
	管理費	550,150
	小 計	24,382,150
	増 減 額	50,000
	正 味 財 産	5,860,023

●寄付金についてのお礼

ご寄付いただきありがとうございました。皆様の善意を環境活動に活かしてまいります。

ありがとう
ございました!



企 業	(株)秋田県分析化学センター 様 (秋田市)	イオン東北(株) 様 (秋田市)
	第一生命保険(株)秋田支社 様 (秋田市)	(株)三木設計事務所 様 (秋田市)
個 人	・小林 様 (秋田市) ・小林 (淑) 様 (秋田市) ・今藤 様 (由利本荘市)	
	・鈴木 様 (男鹿市) ・高橋 様 (秋田市) ・田中 様 (秋田市) ・那須 様 (秋田市)	

●環境あきた県民フォーラムWeb サイトにて情報発信中です!

フォーラムでは、セミナー開催のご案内や開催報告、環境情報などを、Web サイトにて発信しています。ぜひご覧ください!

こちらからどうぞ!
（フォーラム Web サイトへ）



県センター公式LINE
でお友だち募集もして
いるよ!
講習会、イベント情報
など発信中♪
二次元コードから
登録してね。▶



【編集後記】

「環境あきた県民フォーラム」令和7年1月号をお読みいただきありがとうございます。

活動報告の他、新たにご加入いただいた企業・団体、個人の皆さま、また、「秋田県地球温暖化防止活動推進センター」及び「認定NPO法人」の更新が決定したことを皆さまにご報告でき嬉しく思っております。今後もよりいっそう、県民・企業・行政・教育機関等をつなぐ中間支援組織として努力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

【発行】

認定特定非営利活動法人 環境あきた県民フォーラム
(秋田県地球温暖化防止活動推進センター/ACCCA)

〒010-0951 秋田市山王5丁目7-6 林泉会館内
TEL: 018-853-6755 FAX: 018-853-6765
H P: <http://www.eco-akita.org/>
E-Mail: mail@eco-akita.org



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。